No.0701
Discussion Papers In Economics and Sociology（*ISSN:1347-085X*）.
Published by The Economic Society of Kagoshima University

The Errata of “Introduction to a sociological perspective of Symbolic Interactionism（3）（The Summary of a doctoral dissertation, Tohoku University）” *KEIZAIGAKU-RONSHU~ OF KAGOSHIMA UNIVERSITY*（No.54） et al.

Tsukasa Kuwabara
Associate Professor at Kagoshima University

本論は、2001 年 3 月に鹿児島大学経済学会『経済学論集』54 に掲載された論文「東北大学審査学位論文（博士）の要旨－－シンボリック相互作用論序説（３）－－」（以下、桑原 2001 年）及び 2003 年 3 月に『鹿児島大学総合情報処理センター　広報』16 に掲載された原稿「編集後記」（以下、桑原 2003 年）の正誤表である。 筆者が、小学校 6 年生次に受けた暴行罪該当行為の被害（http://ecowww.leh.kagoshima-u.ac.jp/staff/kuwabara/problem.htm）に起因する PTSD 及び 2001 年の 7 月に受けた窃視罪該当行為の被害（http://ecowww.leh.kagoshima-u.ac.jp/staff/kuwabara/110-caption2.htm）に起因する PTSD の完全な克服を目的として公開するものである。

<<凡例（explanatory note）>>

本論においては、以下のような表記方法をとっている。

<table>
<tr><td colspan="4">上欄外　東北大学審査学位論文（博士）の要旨</td></tr>
<tr><td></td><td>右側
Si とは（＝上から 3 行目）</td><td>左側</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">下欄外　3 頁</td></tr>
</table>

↓
該当箇所（corresponding section）
3 頁／右側／上から 3 行目
誤「Si とは」
正「SI とは」
なお、文中、「・・・・」は筆者による中略（snip）を表す。

<<桑原 2001 年について>>

該当箇所

表紙／論文タイトル
誤「シンボリック相互作用論序説（３）－－東北大学審査学位論文（博士）の要旨－－」
正「東北大学審査学位論文（博士）の要旨－－シンボリック相互作用論序説（３）－－」

裏表紙／論文タイトル
誤「（The Summary of a doctoral dissertation, Tohoku University）」
正「（The Summary of my doctoral dissertation, Tohoku University）」

69 頁／論文タイトル
誤「シンボリック相互作用論序説（３）－－東北大学審査学位論文（博士）の要旨－－」
正「東北大学審査学位論文（博士）の要旨－－シンボリック相互作用論序説（３）－－」

70 頁／左側／下から 8 ～ 9 行目
誤「「他者たちの集団〔（補注２））〕」」
正「「他者たちの集団」（補注２））」

71 頁、73 頁、75 頁、77 頁、79 頁、81 頁、83 頁、85 頁／上欄外
誤「東北大学審査学位論文（博士）の要旨」
正「“東北大学審査学位論文（博士）の要旨”」

76 頁／右側／上から 17 ～ 18 行目
誤「「活動単位の役割〔（補注３））〕を取得」」
正「“活動単位の役割〔（補注３））〕を取得”」

77 頁／右側／下から 1 ～ 6 行目
誤「東北大学審査学位論文（博士），桑原・・・・2000 年」
正「東北大学審査学位論文（博士）＝［桑原・・・・2000 年］」

77 頁／左側／上から 2 ～ 4 行目
誤「・・・・〔,「〕・・・・〔」・・・・」
正「・・・・〔,『〕・・・・〔』・・・・」

77 頁／左側／下から 8 行目
誤「引用］。」
正「引用した］。」

77 頁／左側／下から 4 行目
誤「桑原　司，他訳」
正「桑原　司，他，訳」

78 頁／右側／上から 1 行目
誤「参照］。」
正「参照した］。」

78 頁／右側／下から 7 行目
誤「（背表紙記載・・・・」
正「（ちなみに、背表紙記載・・・・」

78 頁／左側／上から 3 行目
誤「『　』を」
正「『　』亦は＜　＞を」

78 頁／左側／上から 14 行目
誤「「〔引用〕頁数」」
正「「〔引用及び言及・参照〕頁数」」

78 頁／左側／下から 18 行目
誤「「〔所」
正「「〔引用及び言及・参照亦は所」

78 頁／左側／下から 17 行目
誤「頁数」）（例：」
正「頁数」）という形式で行っている（ところで、」

78 頁／左側／下から 15 行目
誤「要旨文学」
正「要旨　文学」

78 頁／左側／下から 12 〜 13 行目
誤「を参照。）という形式で行っている。」
正「を参照されたい。）。」

78 頁／左側／下から 11 行目
誤「（例：」
正「なお、」

78 頁／左側／下から 7 行目
誤「を参照。）」
正「を参照されたい。」

80 頁／左側／注５）
誤「非物質」
正「精神」

81 頁／右側／下から 15 〜 20 行目（2 カ所）
誤「を参照。」
正「を参照されたい。」

81 頁／左側／上から 8 行目
誤「桑原，1996 年 a」
正「桑原・1996 年 a」

82 頁／右側／上から 17 〜 22 行目
誤「〔「行動・・・・という」・・・・『社会学小辞典〔増補版〕』」
正「〔『行動・・・・という』・・・・＜社会学小辞典〔増補版〕＞」

83 頁／左側／下から 5 行目
誤「その他の「社会集団」に関する概念」
正「□その他の「社会集団」（social group）に関する概念として以下のものを挙げておこう。」

83 頁／左側／下から 4 行目
誤「→」
正「□」

84 頁／右側／上から 19 行目
誤「→」
正「□」

84 頁／左側／上から 1 行目と 12 行目
誤「→」
正「□」

84 頁／左側／補注３）
誤「「ソーンダイク‥‥」‥‥『社会学小辞典〔増補版〕』」
正「『ソーンダイク‥‥』‥‥＜社会学小辞典〔増補版〕＞」

85 頁／左側／補注４）
誤「（東北大学第 44 号）（背表紙‥‥書名＝‥‥第 11 集　東北大学」），‥‥を参照”。‥‥（背表紙記載の書名＝‥‥第 11 集　東北大学」），‥‥を参照。〔（背表紙記載の書名が‥‥ている書物）の‥‥されたい。〕」
正「（東北大学第 44 号）（ちなみに、背表紙‥‥書名は、‥‥第 11 集　東北大学」となっている），‥‥を参照”した。‥‥（ちなみに、背表紙記載の書名は‥‥第 11 集　東北大学」となっている），‥‥を参照した。再度述べるならば、博士論文の正式なタイトルについては、背表紙記載の書名が‥‥ている書物の‥‥されたい。」

85 頁／左側／補注５）
誤「『文学部論叢‥‥－－』‥‥掲載の「卒業論文」「社会学コース」‥‥を参照。」
正「＜文学部論叢‥‥－－＞‥‥掲載の『卒業論文』『社会学コース』‥‥を参照されたい。」

85 頁／左側／補注６）
誤「桑原　司，「H.G.ブルーマーのシンボリック相互作用論における『行為者と社会との関係』再考」」
正「桑原　司，『H.G.ブルーマーのシンボリック相互作用論における＜行為者と社会との関係＞再考』」

85 頁／左側／補注７）（2 カ所）
誤「『文化』」
正「＜文化＞」

85 頁／左側／補注８）
誤「「ハーバート‥‥」（東北大学文学会（編），『文化』‥‥」
正「『ハーバート‥‥』（東北大学文学会（編），＜文化＞‥‥」

85 ～ 86 頁／左側／補注９）
誤「『東北大学文学部の現況 II　1995 年』‥‥「平成 4 年度　地域科学科卒業論文・修士論文題目一覧表」‥‥『文学部論叢‥‥』第 44 号‥‥熊本大学文学会‥‥」
正「＜東北大学文学部の現況 II　1995 年＞‥‥『平成 4 年度　地域科学科卒業論文・修士論文題目一覧表』‥‥＜文学部論叢‥‥＞第 44 号‥‥熊本大学〔→尚、筆者が、同大在学中に、4 年目（1992 年）の末までに修得した単位数は、教養科目“卒業要件単位数『全』”単位、また専門科目は 78 単位（すなわち 72 単位以上である。なお『卒業論文』相当分の 8 単位は転コースに伴い必然的に次年度に持ち越しされた。なお、筆者の地域科学科民俗学コースから社会学コースへの転コース（所属コース変更）の経緯については、次の文献を参照されたい。＜鹿児島大学総合情報処理センター　広報＞ 16、10 頁。）である。再度繰り返すならば、筆者が、同大在学中に、4 年目（1992 年）の末までに修得した単位数は、教養科目“卒業要件単位数『全』”単位、また専門科目は 78 単位（すなわち 72 単位以上である。なお『卒業論文』相当分の 8 単位は転コースに伴い必然的に次年度に持ち越しされた。なお、筆者の地域科学科民俗学コースから社会学コースへの転コース（所属コース変更）の経緯については、次の文献を参照されたい。＜鹿児島大学総合情報処理センター　広報＞ 16、10 頁。）である。再度繰り返すならば、筆者が、同大在学中に、4 年目（1992 年）の末までに修得した単位数は、教養科目“卒業要件単位数『全』”単位、また専門科目は 78 単位（すなわち 72 単位以上である。なお『卒業論文』相当分の 8 単位は転コースに伴い必然的に次年度に持ち越しされた。なお、筆者の地域科学科民俗学コースから社会学コースへの転コース（所属コース変更）の経緯については、次の文献を参照されたい。＜鹿児島大学総合情報処理センター　広報＞ 16、10 頁。）である。〕文学会‥‥」

〈〈桑原 2003 年について〉〉

該当箇所
138頁／桑原担当箇所
誤「先だって私は、拙稿の表題を間違えるという大きなミスを行ってしまった‥‥『鹿児島大学：経済学論集』54の‥‥上欄外‥‥」
正「先だって私は、拙稿の表題（タイトル）を間違えるという大きなミスを行ってしまった‥‥『経済学論集』〔1996年7月公刊の同誌第44号、133頁によると、「この雑誌の創刊当時の名称は、いかにも律儀に、『鹿児島大学法文学部紀要　経済学論集』というのがいわば正式のもの」だったとのことである。〕54，2001年の‥‥“上欄外”‥‥」

No.0701
Discussion Papers In Economics and Sociology (ISSN:1347-085X).
Published by The Economic Society of Kagoshima University

The Errata of “Introduction to a sociological perspective of Symbolic Interactionism (3)
(The Summary of a doctoral dissertation, Tohoku University)”
KEIZAIGAKU-RONSHU~ OF KAGOSHIMA UNIVERSITY (No.54) et al.

桑原　司
2007/10/15